

高等学校 令和8年度

教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：(松澤風・大森達也・佐藤勉・松島美邦・窪和広・大江竜彦)

使用教科書：(高校生の公共(帝国書院))

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 現代社会に関して理解するとともに、実生活と関連する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 身の回りにある事象の意味や意義について多面的・多角的に考察できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 日々の学びと生活が密接に関わっていることを自覚し、授業の大切さを理解できるようにする。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高校で学ぶ内容を理解し、さらに日常生活や社会環境と置き換えて考えることができる。	様々な社会的・歴史的諸事象に対し、自分の意見をまとめ、相手と議論を交わすことができる。	学びながら疑問を持ち、課題を発見し、解決に向けて学び続けることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 社会の中の私たち 青年期において自分自身を向き合い、社会参画に向けて自己理解を深めることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 参進課題における構造化の歴史を理解することができる。 【思考・判断・表現】 自己理解を深める過程として、自分のアイデンティティについて表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。				12
定期考査			○	○		1
B 思想から学ぶべきもの 倫理的な見方・考え方から、よく生きることは何か、正義公正とは何かを考え深めることができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 古代ギリシア・古代の中国の思想について、理解することができる。 【思考・判断・表現】 現代の思想がどのようにして成立したのかを過去の事例から整理し、生湊明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。				12
定期考査			○	○		1
1 学期						8
A 社会の基本原則と憲法の考え方 近代立憲主義の歴史を理解し、日本国憲法における基本的人権がどのように保障されているか、判例を踏まえながら理解することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 近代立憲主義の歴史的成立過程およびその原理を理解するとともに、日本国憲法で規定されている基本的人権について説明することができる。 【思考・判断・表現】 現代社会の中で人権に関する問題にはどのようなものがあるのかについて、過去の判例を踏まえながら自分の意見をまとめることができる。				9
定期考査			○	○		1
2 学期						10
B 民主社会と政治参加 政治権力の目的と議院内閣制のしくみを理解するとともに、国民の政治参加を促すためにはどのような課題があるのかについて考察することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 議院内閣制と国会、選挙制度それぞれのしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 国民が政治に関心をもちためには現行の政治制度のどのような点に課題があるのかについて、自分の意見をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。				10
C 社会保障の役割と意義 社会保障制度の役割と意義を理解した上で、日本の社会保障制度が置かれている現状と課題について、実生活と関連付けて考察することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 社会保障制度の歴史と日本の社会保障制度について説明できる。 【思考・判断・表現】 社会保障制度が持続可能なものとなるための具体的な取り組みと制度上の課題について、実生活と関連付けながら自分の意見をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。				8
A 社会の基本原則と憲法の考え方 近代立憲主義の歴史を理解し、日本国憲法における基本的人権がどのように保障されているか、判例を踏まえながら理解することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 近代立憲主義の歴史的成立過程およびその原理を理解するとともに、日本国憲法で規定されている基本的人権について説明することができる。 【思考・判断・表現】 現代社会の中で人権に関する問題にはどのようなものがあるのかについて、過去の判例を踏まえながら自分の意見をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。				8
B 民主社会と政治参加 政治権力の目的と議院内閣制のしくみを理解するとともに、国民の政治参加を促すためにはどのような課題があるのかについて考察することができる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 議院内閣制と国会、選挙制度それぞれのしくみについて理解している。 【思考・判断・表現】 国民が政治に関心をもちためには現行の政治制度のどのような点に課題があるのかについて、自分の意見をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びながら疑問を持ち、課題を発見し解決に向けて学び続けることができる。				7
定期考査			○	○		1
3 学期						78
合計						78